



令和7年度

「谷地高校生と未来を語ろう」 記録誌

山形県河北町議会



(9月5日 町議会定例会を傍聴後の記念写真)

令和7年度「谷地高校生と未来を語ろう」記録誌

記録担当 谷地高等学校：渡邊 咲奈
河北町議会：林 智

テ ー マ	谷地高校生のバス通学や一般人の公共交通利用について
テーマ設定 の理由	バスを利用していて不便だと感じる場面があったから。
班 番 号	第1班
開催日時	令和7年11月21日（金）午後1時27分～午後3時28分
会 場	県立谷地高等学校 第5多目的室
出席者	 <p>【県立谷地高等学校】</p> <p>安孫子沙弥 後藤 風彩 田中 優奈 渡邊 咲奈</p> <p>【河北町議会】</p> <p>佐藤 修二 林 智</p>

意見交換 の内容	<p>〔まとめたグループ1〕乗降について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 冬季間路肩に雪山があり、バスへの乗降がしづらい ○ バス降車時、縁石につまずいてしまう (バリアフリーの不足) <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 冬季間の路肩の雪山を誰が片付けるのか ○ 縁石があり、乗り降りに苦勞する <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 雪山は、生徒会やクラスごとに雪はきボランティア ○ 縁石をなくす <p>〔まとめたグループ2〕運行について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テスト期間が不便 ○ バスの時間が合わない ○ 本数が少ない ○ 登校時にバスが2本しかない ○ 運転手不足 <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人手不足 ○ バスの運行時間の見直し ○ 2時間待った時があった ○ 利用者の減少 <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 待ち時間を楽しく過ごせる場所をつくる ○ 谷地高生をふやす！ <p>〔まとめたグループ3〕冬季授業について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 冬季の登校が不便 <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 朝少し遅刻してしまう ○ バスが延滞して遅刻しそうになる <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 冬はオンライン授業
-------------	---

	<p>〔まとめたグループ4〕時刻表示について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ バス停の時刻表が見にくい ○ 遅延情報が見づらい <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 時刻表が車道側を向いて設置してある ○ 他のバス停でも情報提供して欲しい ○ サイトが見づらい ○ スマホを持っていない人はわからない <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ バス停の向きを歩道側に変える <p>〔まとめたグループ5〕支援について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 通学補助金の申請 <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町役場は平日しか開いていない ○ 親がいけない <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務室で受付
ま と め	<p>通学補助金の申請は平日の日中のみで親が仕事などで申請が大変だったが、見に来ていた町長さんが校長先生と話し事務室で受付してくれる事になった。</p> <p>バスの運行については、寒河江市からバスで通学する場合、特にテスト期間などの下校時はバスの時間が合わず2時間くらい待つ時があった。働き方改革の影響など、運転手などの人手不足が考えられる。バスの運行時間の見直しや、利用者不足対策で、谷地高生を増やすこと。バスの待ち時間を楽しく過ごせる場所を作る。</p> <p>時刻情報については、バス停の時刻表が見づらい。バス停の時刻表が車道側を向いているので、歩道側に向きをかえて解決する。</p> <p>遅延状況が分かりづらいので、webサイトを改善して欲しい。スマホを持っていない高齢者などは遅延状況が分からないので、分かるようにしてはどうか。</p> <p>乗降については、バスから降車するとき、降り口のすぐそばに縁石があり躓きやすく危険な状態。バリアフリーの観点から縁石をなくしてはどうなのか。</p>

	<p>また、冬季間は道路と歩道の間に雪山が出来、バスに乗り降りしにくいので生徒会やクラスごとに交代で雪片づけをしてはどうか。</p> <p>冬季授業については、バスが遅延し遅刻しそうになるので登校が不便と感ずるので、冬はオンライン授業を取り入れる。</p>
感想、または町行政や町議会へ伝えたい思い (無記名)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通学補助金の申請については、その場で迅速に対応して頂き、バスを利用する谷地校生にとってより便利な環境づくりに貢献できたと感じました。 ・ 自分たちが利用しているうえでの問題だけでなく、高齢者の視点や冬季など様々な問題にも目を向けることができ、テーマに沿ってより良くする話し合いができてとても良かったです。 ・ 自分たちが問題と感じたことを自分たちで解決できるよう考えることは難しいと感じました。ですが、役場の方や議会の方の協力もあり内容を深めることができ、解決に一步近づけられたと感じました。 ・ 解決策についてなかなか案が出せずにいたとき、オンライン授業を取り入れることやバスの待ち時間を楽しく過ごせるようにするなどと言った助言を頂いて、自分たちにはない視点からの解決策だったので、立場が違った人たちの話し合いは様々な収穫が得られる場だと思い、このように話し合える機会を大事にしていきたいと思いました。 ・ 自分たちの提案が少しでも地域に役立つかもしれないという実感も得られ、とても貴重な経験になりました。



(10月24日 町の業務について聴き取り)

令和7年度「谷地高校生と未来を語ろう」記録誌

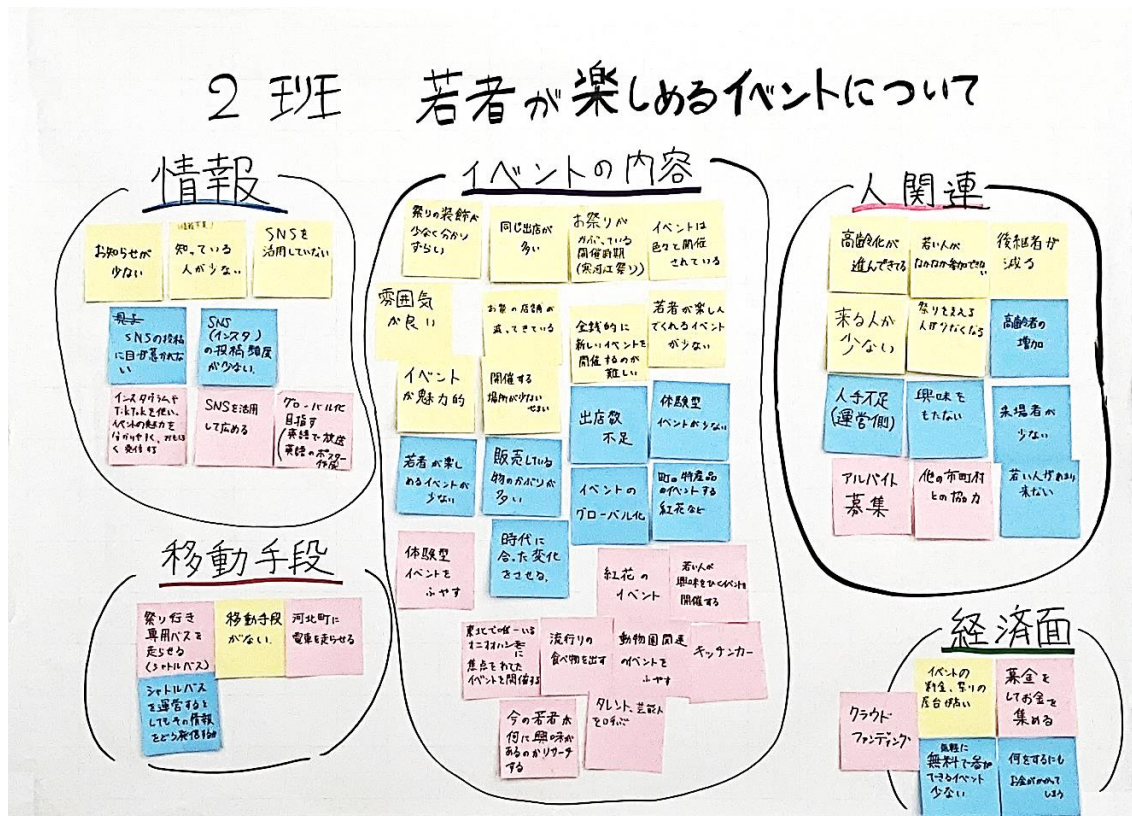
記録担当 谷地高等学校：渡邊さくら
河北町議会：安孫子真弥

テ ー マ	若者が楽しめるイベントについて
テーマ設定 の理由	楽しそうだし、若者が楽しめるイベントに興味があったから。
班 番 号	第2班
開催日時	令和7年11月21日（金）午後1時27分～午後3時28分
会 場	県立谷地高等学校 第5多目的室
出席者	 <p>【県立谷地高等学校】</p> <p>安孫子美亜 荒木 雫 斎藤 夏帆 渡邊さくら</p> <p>【河北町議会】</p> <p>細矢 誓子 安孫子真弥</p>

意見交換 の内容	<p>〔まとめたグループ1〕 情報について</p> <p>■ 現 状 ■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お知らせが少ない ○ 知っている人が少ない ○ SNS を活用していない <p>■ 課題や問題点 ■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ SNS の投稿に目が惹かれない ○ SNS（インスタ）の投稿頻度が少ない <p>■ 改善案や今後の方向性 ■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Instagram や TikTok を使い、イベントの魅力を分かりやすく、面白く発信する ○ SNS を活用して広める ○ グローバル化を目指す (英語で放送、英語のポスター作成) <p>〔まとめたグループ2〕 イベントの内容について</p> <p>■ 現 状 ■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 祭りの装飾が少なく分かりづらい ○ 同じ出店が多い ○ お祭りの開催時期が被っている（寒河江祭り） ○ イベントは色々と開催されている ○ 雰囲気が良い ○ お祭りの店舗が減ってきている ○ 金銭的に新しいイベントを開催するのが難しい ○ 若者が楽しんでもくれるイベントが少ない ○ イベントが魅力的 ○ 開催する場所が少ない、狭い <p>■ 課題や問題点 ■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 若者が楽しめるイベントが少ない ○ 販売している物の被りが多い ○ 出店数不足 ○ 体験型イベントが少ない ○ 時代に合った変化をさせる ○ イベントのグローバル化 ○ 町の特産品のイベントをする（紅花など） <p>■ 改善案や今後の方向性 ■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 若い人が興味をひくイベントを開催する ○ 体験型イベントを増やす ○ 紅花のイベント
-------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東北で唯一いるオニオオハシに焦点を当てたイベントを開催する ○ 流行りの食べ物を出す ○ 動物園関連のイベントをふやす ○ キッチンカー ○ 今の若者が何に興味があるのかリサーチする ○ タレント、芸能人を呼ぶ <p>〔まとめたグループ3〕 人関連について</p> <p>■ 現 状 ■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢化が進んできている ○ 若い人がなかなか参加できない ○ 後継者が減る ○ 来る人が少ない ○ 祭りを支える人が少なくなる <p>■ 課題や問題点 ■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者の増加 ○ 人手不足（運営側） ○ 来場者が少ない ○ 若い人があまり来ない <p>■ 改善案や今後の方向性 ■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 他の市町村との協力 ○ アルバイト募集 <p>〔まとめたグループ4〕 移動手段について</p> <p>■ 現 状 ■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 移動手段がない <p>■ 課題や問題点 ■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ シャトルバスを運営するとしてもその情報をどう発信するか <p>■ 改善案や今後の方向性 ■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 河北町に電車を走らせる ○ 祭り行き専用バスを走らせる（シャトルバス） <p>〔まとめたグループ5〕 経済面について</p> <p>■ 現 状 ■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イベントの料金、祭りの屋台が高い <p>■ 課題や問題点 ■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 何をするにもお金が掛かってしまう ○ 気軽に無料で参加できるイベントが少ない
--	---

	<p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ クラウドファンディング ○ 募金をしてお金を集める
ま と め	<p>若者が楽しめるイベントについての課題は、情報発信・内容の充実・人材確保・移動手段・経済面の五つに大別される。</p> <p>まず情報面では、告知不足やSNS 活用の弱さが目立ち、Instagram の投稿頻度が低く、内容も目を引きにくい点が問題である。今後は Instagram や TikTok を活用し、写真・動画で分かりやすく魅力を伝えるほか、英語投稿や英語ポスターによるグローバルな発信が期待される。</p> <p>イベント内容については、装飾や出店の少なさ、販売物の重複、若者向け企画の不足が課題である。魅力はあるものの、開催場所が狭いことや、新規イベントをつくる財源不足も影響している。改善策として、体験型イベントの拡充、流行の食べ物の導入、紅花やオニオオハシなど地域資源を活かした独自企画、キッチンカーや動物関連イベントの増加、若者の興味のリサーチ、タレント招聘などが挙げられる。</p> <p>人材面では、高齢化により運営側・来場側ともに若者が少ないことが大きな問題で、後継者不足も進んでいる。他市町村との協力やアルバイト募集で体制を補う必要がある。</p> <p>移動手段についてはアクセスの弱さが課題で、祭り専用シャトルバスの運行と、その情報の分かりやすい発信が求められる。</p> <p>経済面では屋台やイベント料金の高さが参加を阻むため、クラウドファンディングや募金で財源を確保し、気軽に参加できる企画を増やすことが重要となる。</p>
感想、または町行政や町議会へ伝えたい思い (無記名)	<p>自分たちでは思いつかなかった視点からの意見をいただき、考える良い機会となりました。また、議員さんたちが明るく話しやすい雰囲気を作ってくれたため私達もとても意見を出しやすかったです。自分たちが当たり前のように生活している街について考えることができ、とても興味深かったです。今回はありがとうございました。</p>





(10月24日 町の業務について聴き取り)

令和7年度「谷地高校生と未来を語ろう」記録誌

記録担当 谷地高等学校：多田 小町
河北町議会：東海林信弘

テ ー マ	町の魅力を発信する取り組みについて
テーマ設定 の理由	河北町の魅力を発信するためには、まずは自分たちから知る必要があると思ったから。
班 番 号	第3班
開催日時	令和7年11月21日（金）午後1時27分～午後3時28分
会 場	県立谷地高等学校 第5多目的室
出席者	 <p>【県立谷地高等学校】</p> <p>阿部莉佳子 阿部 怜羅 菅原 京華 多田 小町</p> <p>【河北町議会】</p> <p>漆山 光春 東海林 信弘</p>

意見交換 の内容	<p>〔まとめたグループ1〕 情報発信について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報発信用（ポスター）の掲示板が目立たない ○ 町民が町について知らない <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報発信用の掲示板が目立たない ○ 発信する魅力がないと情報は発信できない ○ 情報発信方法を年代別に変える <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ YouTube や TikTok など情報発信する ○ 季節ごとの魅力を発信する ○ 町の魅力をシールなどにして発信する <p>〔まとめたグループ2〕 イベントについて</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どんが祭りと寒河江祭りが同じ日に開催される ○ ひな祭りの開催日（なぜ3月ではないのか） ○ 紅花資料館は、認知度はあるけど観光地とは違う <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町外から来る人が少ない ○ 紅花資料館は、認知度はあるけど観光地とは違う <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町のイベントを町外で開催し PR する ○ 友好都市などと交流を盛んにする ○ 祭りなどのイベント開催日を調整する <p>〔まとめたグループ3〕 動物園について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 動物園の取材と来園者も多くなってきた ○ 動物園の魅力発信のために、絆創膏にして発信 <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町外から来る人が少ない ○ 魅力を伝えるために、情報発信をさらに工夫する <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 魅力発信するためにグッズを考案し販売する <p>〔まとめたグループ4〕 地場産業と肉そばについて</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スリッパ産業の後継者不足 ○ 肉そばを好む年代は若者が少ない
-------------	---

	<p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生産者の高齢化 ○ 若者が来店したいと思う店が少ない ○ 地場産業のPR不足 <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光だけではなく、商工業・飲食を総合的に考える <p>〔まとめたグループ5〕イタリア野菜について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イタリア野菜の生産者が少ない ○ イタリア野菜の知名度が低い <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イタリア野菜の生産者が少ない ○ イタリア野菜の知名度が低い <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イタリア野菜の知名度をもっと上げる
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町の魅力はさまざま存在するが、魅力を発信する手法・方法をさらに工夫し、ターゲットを絞り込む取り組みなどが必要ではないか。 ○ 町では、ひな祭り・どんが祭りなど各種イベントなどあるが開催日時など近隣市町のイベントを考慮し、町外からの人をさらに誘客することが必要ではないか。 ○ B級グルメの冷たい肉そば、イタリア野菜などは認知度も高くなってきているが、スリッパ産業や秘伝豆などに関連した情報発信にも創意工夫が必要ではないか。 ○ 産学官連携による情報発信方法の検討をするのはどうか。

今回、自分のなかで疑問で終わってしまっていたものを議員の方々と共同で議論・まとめを行うことができた。

河北町民として、町の魅力をもっと知ることができた。

町の魅力はもっとあるから海外などもっとたくさんの人に伝えてほしい。







(10月24日 町の業務について聴き取り)

令和7年度「谷地高校生と未来を語ろう」記録誌

記録担当 谷地高等学校：長岡 柚希
河北町議会：丹野 貞子

テ ー マ	結婚推進事業について
テーマ設定 の理由	自分たちの将来を考えたときに一番身近だったから。
班 番 号	第4班
開催日時	令和7年11月21日（金）午後1時27分～午後3時28分
会 場	県立谷地高等学校 第5多目的室
出席者	 <p>【県立谷地高等学校】</p> <p>奥山 陽菜 長岡 柚希 渡邊 瑠愛 渋谷 結衣</p> <p>【河北町議会】</p> <p>丹野 貞子 職員 岡崎 美穂</p>

意見交換 の内容	<p>〔まとめたグループ1〕結婚について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 出生者 山形県→5151、河北町→59 ○ 合計特殊出生率 山形県→1.22、河北町→1.09 ○ 婚姻数 山形県→2971、河北町→33 ○ 婚姻数が減少傾向にある <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年齢が上がるにつれ慎重になり、結婚が遅くなる、子供を産むのが遅くなり、子供も増えない、少子化 ○ 理想が高い、人に対する偏見を持つ人が多い ○ 結婚に対する不安、良いイメージがない、経済的負担 ○ 結婚＝出産というイメージ ○ 結婚より仕事を優先、仕事や趣味に没頭したい、自由な時間を失いたくない、独身でもよい、AIと結婚する人がある、結婚したくない、結婚しなくても幸せになれる時代 <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 結婚のメリット・デメリットを学ぶ、学校の授業で結婚について学ぶ ○ 経済的な不安の解消、支援を充実させる ○ 結婚後も暮らしやすい町をつくる、子育て支援、育児講座 <p>〔まとめたグループ2〕婚活について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 婚活イベントが盛んに行われている、イベントの前にマナー講座などの事前講座も行われている ○ 町の広報によってイベントが周知される、役場の中にもチラシ配置されている ○ 令和6年度6月1組、令和7年度2月4組マッチングしている ○ ハッピーサポートセンターは県で設立した組織だから信頼性が高い ○ 結婚相談所で相談できる ○ 新婚生活補助がある、婚姻届けを出した際に町独自でスリッパのプレゼントを行っている <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 婚活を町に頼る人が少ない ○ 婚活イベントを知っている人が少ない、イベントはあっても若者にあまり周知されない
-------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ○ イベントは行われているが成果が出るまで時間がかかる ○ 転出者が多い ○ 学生どうしの出会いの場が少ない <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イベントの周知をSNSで行う、婚活やイベントについて掲載するSNSアカウントを作成する ○ 参加しやすいイベントの雰囲気づくり ○ 出会いの場を増やす、学生のうちから出会いの場をつくる、高校生同士の交流を増やす ○ ハッピーサポートセンター（マッチング）は安全だということを周知させる
ま と め	<p>河北町の現状は</p> <p>婚姻数が減少傾向にあるが、婚活イベントが盛んに行われていて、イベントの前にマナー講座などの事前講座も行われている。町の広報や役場の中のチラシによって、告知されている。新婚生活補助があり、婚姻届けを出した際に町独自でスリッパのプレゼントを行っている。</p> <p>課題や問題点は</p> <p>結婚より仕事や趣味に没頭したい思いや、独身でもよい、結婚をしたくない、自由な時間を失いたくない、結婚しなくても幸せになれる時代など考え方の多様化。</p> <p>また、結婚に対する不安があり、経済的負担が増え、結婚＝出産というイメージがある。</p> <p>さらに、年齢が上がるにつれ慎重になり、結婚が遅くなることによって、子供を産むのが遅くなり、子供も増えない。</p> <p>婚活も、出会いの場が少なく、また町に頼る人が少ない。そして、若者にあまり周知されず、成果が出るまで時間がかかる。</p> <p>今後の改善点や方向性は</p> <p>子育て支援、育児講座など行い、結婚後も暮らしやすい町をつくり、経済的な不安の解消、支援を充実させる。</p> <p>婚活については、イベントの周知等をしてもらうため、積極的にSNSを活用する。また、参加しやすいイベントの雰囲気づくりを考え、学生のうちから交流を増やして出会いの場をつくることを考えていく。</p>

議員の方と話す機会は貴重だと思うので、いい経験になったと思う。イベントや支援についてなども知れて良かった。たくさんお話して、楽しく学ぶことができたのでとても有意義な時間になった。河北町や私たちの未来について考えるきっかけになったので良かった。実際に自分たちでイベントなど企画して実行してみたいと思った。

現狀

課題 と 問題点

改善案
や
今後の方向性

出生率数	結婚数
山形 → 5151	山形 → 2971
河北 → 59	河北 → 334
合計特殊出生率	婚姻指数
山形 → 1.22	減少傾向
河北 → 1.09	にある。

支援
→結婚相談
所でも相談
できる。

令和6年度6月
1組
令和7年度2月
4組

町の広報
にふり
同知でよ。こ
(1ペント)

後場の中に
4月3日までの
13日のなかで
週1回情報
提供を行う。

★
ハッピーアゲ
セカ
星の王子様
王子様様様様
王子様様様様

ベント前
マフー
事前準備
行われる

婚活
ベントへ
参入
参入

ベント行
れたい
成果が出る
時間がある

新婚生活
補助
ある

2117

若者に
 あまり周知
 でない(ハナ)
 婚活イベ
 ントを知っ
 ている人が少な
 婚活を
 回りに頼り
 べつたい

少子化

転出者が
多い

年齢が上
がるにつれ
慎重になつて
→結婚しない
子どもを産む
のが遅くなり
子どもも増え

学生どうしの
出会いの場
が少ない

理想か
高い

AIと結婚
する人はいる

人に対する
偏見をもつ
人が7割

結婚＝出産
というイメージ

結婚生活
のイメージが
持てない。
結婚に
対する
モチベーションが
上がらない。
結婚をしない
人も幸せに
なれる時代

結婚に良いイメージがない
自由な時間と失いたくない
仕事や趣味に没頭したい
結婚に対する不安

經濟的
負擔

婚活イベント
について、SNS
で作成する。

イベントの
周知をSNS
で行う

参加し
イベント
につき

婚活イベ
ントをSNS
で知って参
るようになる

学生のうち
から出会いの
場をつくる

高校生の
交流の
増や

出会いの
場を
増やす

結婚後の
暮らしやすい
町をつくる

支援下
で実現

子育て
支援

育児講座

ハッピーサポ-
セター(マキヤ
Pinky) 11 字 金に
ということと周知
させる。

経済的
不安の解消





(10月24日 町の業務について聴き取り)

令和7年度「谷地高校生と未来を語ろう」記録誌

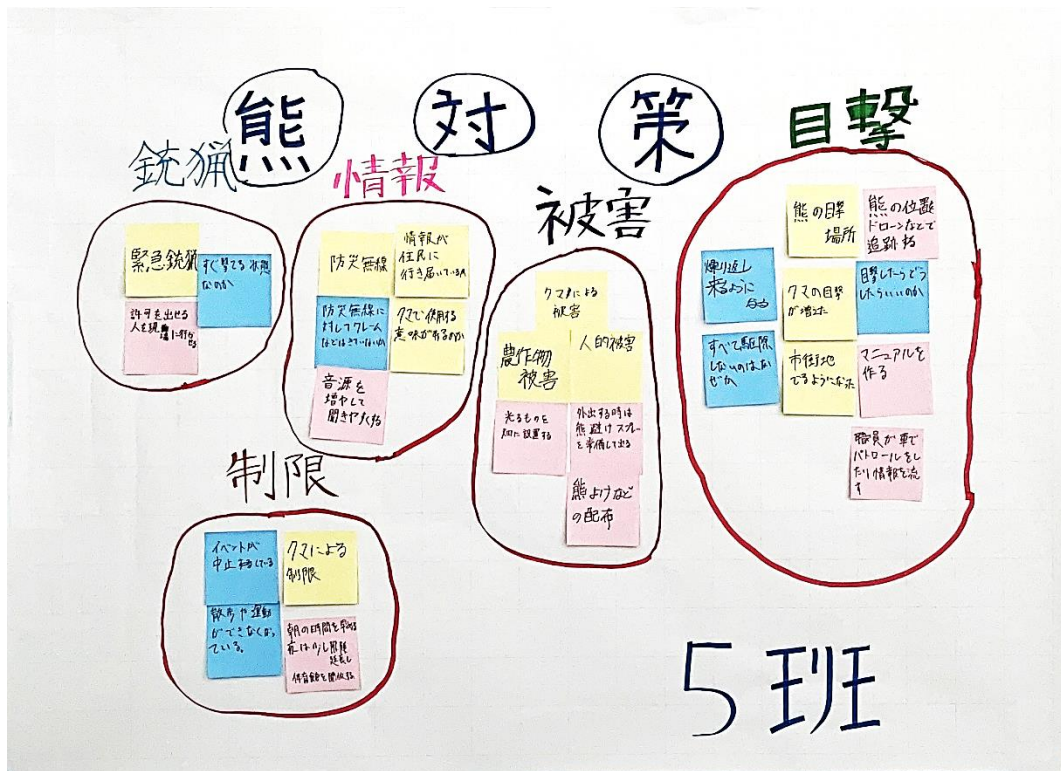
記録担当 谷地高等学校：土田 啓太
河北町議会：増川 憲一

テ ー マ	熊対策
テーマ設定 の理由	最近熊についてのニュースが話題となっているから。
班 番 号	第5班
開催日時	令和7年11月21日（金）午後1時27分～午後3時28分
会 場	県立谷地高等学校 第5多目的室
出席者	 <p>【県立谷地高等学校】</p> <p>菊地 匠真 土田 啓太 秋場 悠也 佐藤 海成</p> <p>【河北町議会】</p> <p>木村 章一 増川 憲一</p>

意見交換 の内容	<p>〔まとめたグループ1〕銃猟について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■現 状■ 緊急銃猟 ■課題や問題点■ すぐ撃てる状態なのか ■改善案や今後の方向性■ 許可を出せる人を現場に行かせる <p>〔まとめたグループ2〕情報について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■現 状■ 情報が住民に行き届いているか 防災無線 クマで使用する意味があるか ■課題や問題点■ 防災無線に対してクレームなどはきていないか ■改善案や今後の方向性■ 音源を増やして聞きやすくする <p>〔まとめたグループ3〕被害について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■現 状■ クマによる被害 農作物被害 人的被害 ■課題や問題点■ ■改善案や今後の方向性■ 光るものを畑に設置する 外出する時は熊避けスプレーを常備して出る 熊よけなどの配布 <p>〔まとめたグループ4〕目撃について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■現 状■ 熊の目撃場所 クマの目撃が増えた 市街地に出るようになった ■課題や問題点■ 繰り返し来るようになる 目撃したらどうしたらいいのか すべて駆除しないのはなぜか
-------------	--

	<p>■改善案や今後の方向性■ 熊の位置をドローンなどで追跡する マニュアルを作る 職員が車でパトロールをしたり情報を流す</p> <p>〔まとめたグループ5〕制限について</p> <p>■現 状■ クマによる制限</p> <p>■課題や問題点■ イベントが中止している 散歩や運動ができなくなっている</p> <p>■改善案や今後の方向性■ 朝の時間を早める 夜は少し延長し体育館を開放する</p>
ま と め	<p>近年、市街地での熊出没が増加し人的被害も拡大している。緊急銃猟が可能となったものの、発砲時の住民安全確保や迅速に判断・許可できる人材の不足が課題である。今後は市町村長による判断体制の強化に加え、現場で即応できる人材育成が求められる。情報伝達では防災無線の聞き取りにくさや周知の不十分さが問題で、苦情への対応状況も検証が必要である。改善策として音量・音源の増設が挙げられる。被害は農作物・人身ともに増加しており、光る装置の設置や熊よけスプレーの配布など予防策の強化が望まれる。市街地での目撃増加に伴い、繰り返し出没する個体への対応、駆除の是非、住民が遭遇した際の行動指針の明確化が課題である。対策としてマニュアル整備、ドローンによる位置確認、パトロールの強化が必要とされる。さらに熊の影響でイベント中止や屋外活動が制限される問題に対しては、体育館の早朝・夜間利用など代替手段の整備が求められる。</p>

感想、または町行政や町議会へ伝えたい思い （無記名）	<p>今回、熊による被害がどれくらい私達の生活に支障をきたしているのかとても良くわかりました。これからの生活で今回学んだことを大事に自分自身を守ったり、暮らしたりしたいと思いました。ありがとうございました。</p>
-------------------------------	---





(10月24日 町の業務について聴き取り)

令和7年度「谷地高校生と未来を語ろう」記録誌

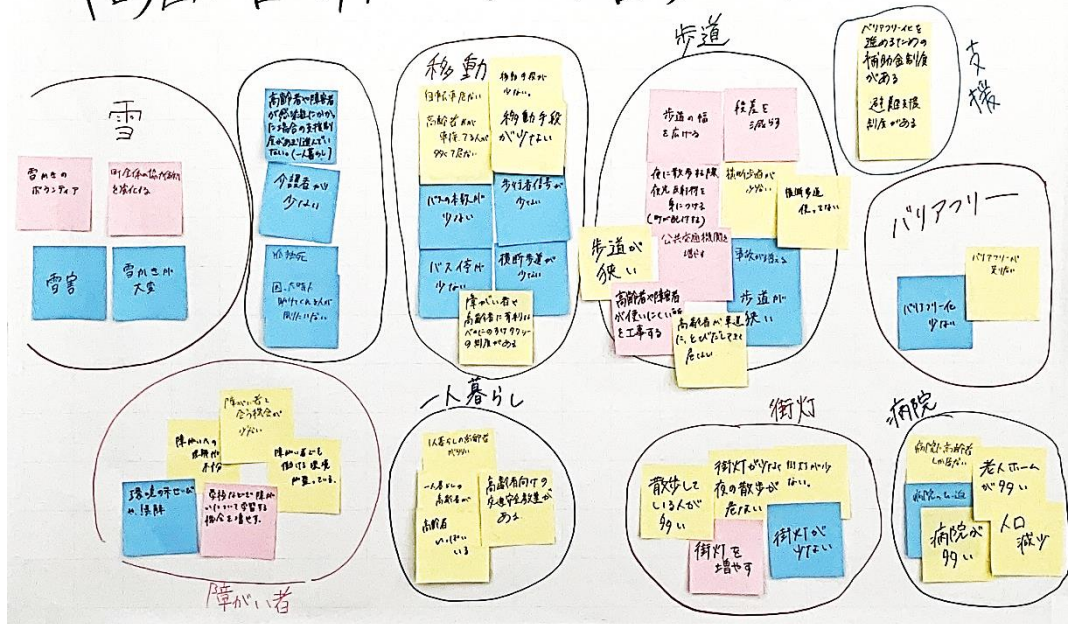
記録担当 谷地高等学校：孫田 姫來
河北町議会：安達 智勇

テ ー マ	高齢者や障がい者が暮らしやすいまちづくりについて
テーマ設定 の理由	最近身の周りに高齢者が多いと感じたから。
班 番 号	第6班
開催日時	令和7年11月21日（金）午後1時27分～午後3時28分
会 場	県立谷地高等学校 第5多目的室
出席者	 <p>【県立谷地高等学校】</p> <p>鹿野 明暖 細矢 徠実 孫田 姫來 八矢 愛奏 大泉ヒカリ</p> <p>【河北町議会】</p> <p>石垣 光洋 安達 智勇</p>

意見交換 の内容	<p>〔まとめたグループ1〕歩道等について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 街灯が少ない ○ 歩道が狭い ○ 横断歩道が少ない・使っていない <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夜、散歩をしていつ人が多いが、危ない ○ 横断歩道を使わない人が多い ○ <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歩道の幅を広げ、段差をなくす ○ 街灯を増やす ○ 夜光反射材を身につける <p>〔まとめたグループ2〕高齢者や障がい者について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 障がい者に会う機会が少ない ○ 1人暮らしの高齢者が多い ○ 障害への理解が少ない <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護者が少ない ○ 困った時に助けてくれる人が居ない ○ 雪かきが大変 <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校などで、障害にについて学習する機会を増やす ○ 雪かきのボランティア ○ 町全体の協力体制を強化する
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歩道が狭く、歩きにくいところが多い。歩道の幅を広げるなど、高齢者や障がい者が通りやすくするべきではないか。 ○ 横断歩道が少ないからか、そもそも横断歩道を利用していない高齢者が多い。安全面からも、横断歩道の整備が必要。 ○ 夜間、散歩をしている人が多いにもかかわらず、街灯が少ない。街灯の増設や夜光反射材の着用などの対策が必要。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者が多くなっているが、一人暮らしの高齢者が増えている。 ○ 高齢者、障がい者ともに、困ったときに助けを求められる人が周囲にいない状態となる。介護者の増員が課題となる。 ○ 積雪が大きな負担となる。雪かきのボランティアなど、町全体で協力体制を強化する必要がある。
感想、または町行政や町議会へ伝えたい思い (無記名)	<p>町の未来のためにがんばってください 自分が住んでいる町の現状について詳しく知ることができました。</p> <p>河北町の活性化に向けて、議員さんと話すことで現状や問題点を知ることができた。</p>

6班 高齢者や障がい者が暮らしやすいまちづくり





(10月24日 町の業務について聴き取り)

—

令和7年度「谷地高校生と未来を語ろう」記録誌

記録担当 谷地高等学校：森 愛花
河北町議会：奥山 英幸

テ ー マ	地域の宝を活用した魅力発信について
テーマ設定 の理由	河北町には魅力的なものがたくさんあるが、知名度が低いこと にもったいなさを感じただから。
班 番 号	第7班
開催日時	令和7年11月21日（金）午後1時27分～午後3時28分
会 場	県立谷地高等学校 第5多目的室
出席者	 <p>【県立谷地高等学校】</p> <p>白田 夏希 橋本 琉花 押野花乃音 森 愛花</p> <p>【河北町議会】</p> <p>鈴木 英友 奥山 英幸</p>

意見交換 の内容	<p>〔まとめたグループ1〕 学校/教育について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小中高とそれぞれ関わる機会が多いが谷地高校の入学者が減少 ○ 子育てや、学校への支援は充実している。 <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 谷地高校に入るメリットや興味関心を引く学校活動が少ない <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 谷地高校に動物科の設置、回覧板やポスターでイベントをPR <p>〔まとめたグループ2〕 施設について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 動物と散歩が可能な大きい公園で子どもに人気のいもこ列車 ○ 動物園がリニューアルで注目度アップ <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いもこ列車自体よくわからない ○ 動物園には補助金を活用し充実を図る <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中央公園を子どものあそび場を学びの場として活用 ○ 動物園のずいーく2Fをワークショップとグッズを企画販売 <p>〔まとめたグループ3〕 伝統/特産について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ あまりなじみのない紅花、食べる機会が少ないイタリア野菜 <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イタリア野菜の販売所が少ない、食べる機会がない ○ 紅花が身近に感じられない、比較対象が無い <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 加工食品を作成、身近に感じるイタリア野菜 ○ そばラーメンパスポートを作成、町内めぐりに誘導する
-------------	---

	<p>〔まとめたグループ４〕催事/祭りについて</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ＰＲや宣伝が少ないひな祭り、一方見どころが多いどんが祭り <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お祭り、催事の町外発信が足りない、また参加しにくい <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観覧が容易な移動手段として、寒河江駅などからのシャトルバスを活用する
ま と め	<p>子育て/教育、施設、伝統/特産、催事/祭り、その他の５項目に分け議論、率直に感じていることを話し合いました。</p> <p>学校/教育と施設では５点の現状、伝統/特産、その他では６点の現状、祭り/催事では４点と多くの現状が出され、それぞれの課題、未来のあるべき姿を話し合いました。</p> <p>協議を通し高校生の視点、考えは有効なものが多く、非常に参考になる意見が多数発言されておりました。</p> <p>学校/教育では、特に谷地高校自体地域の宝であるにもかかわらず入学者減少、課題は入学のメリットが少ない、興味関心を引く学校活動が少ないと課題を的確に捉えており、河北町は県内唯一動物園が設置されている町でもあり、高校にも動物に関する活動が高校の魅力を発信することにつながるなど、未来の姿を的確に発言されていました。</p> <p>また施設では現状いもこ列車は子どもに人気だが、課題はいつ動いているかわからない、未来としては中央公園を一周すると面白いと新たな発想の意見もありました。</p> <p>協議を通し現状は魅力あるものが多い、しかしながら課題は町外へのＰＲや発信力が弱い、未来のあるべき姿として地域の宝を活用しつつＰＲを強化することが重要であることが共通認識として７班全員が情報共有できたと思います。</p>

- ・ 議員の方々が町のことを熟知し、更なる町の発展や町民のために様々な改善案を考えてくださっていることを知ることができた。
- ・ 普段の生活で感じたことや町の課題を議員の方々と一緒に考えることで、さらに一步踏み込んだところまで考えることができた。
- ・ もっと高校生を主体とした活動などを増やしてほしいです。（高校生が進めての活動など）







(10月24日 町の業務について聴き取り)

令和7年度「谷地高校生と未来を語ろう」記録誌

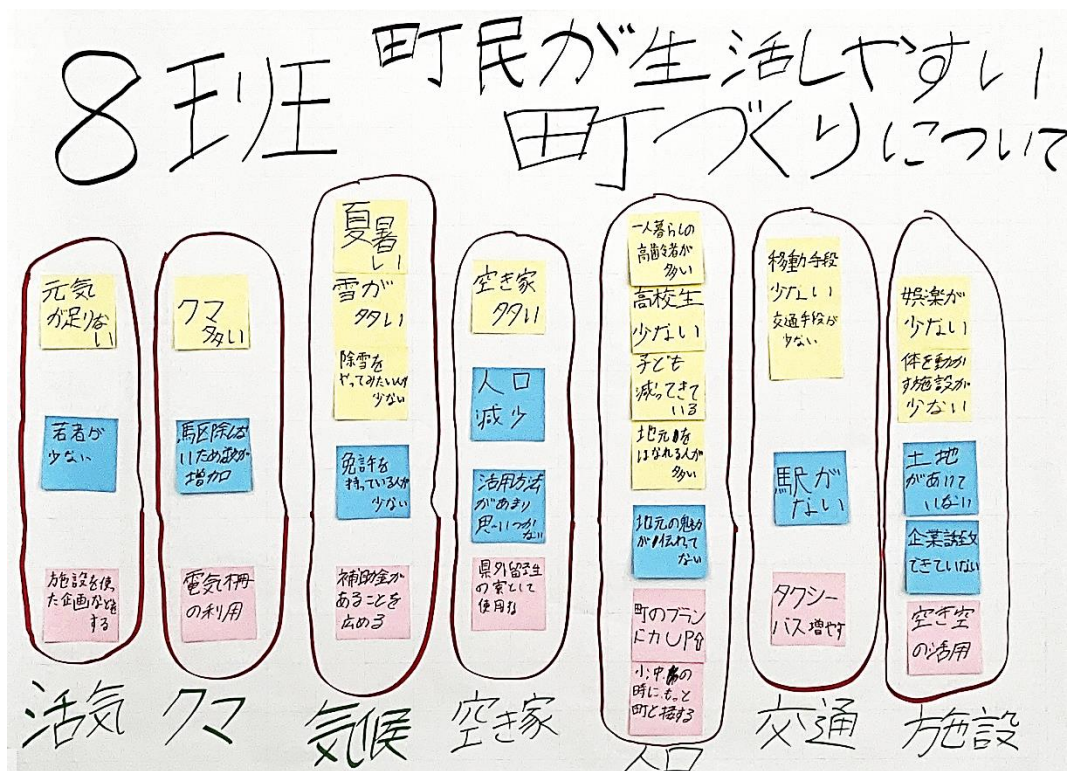
記録担当 谷地高等学校：長岡 翼
河北町議会：吉田 芳美

テ ー マ	町民が生活しやすい町づくりについて
テーマ設定 の理由	谷地高生として河北町の現状を知り、町民が生活しやすい町づくりについて考え、地域を活性化する方法を知りたいから。
班 番 号	第8班
開催日時	令和7年11月21日（金）午後1時27分～午後3時28分
会 場	県立谷地高等学校 第5多目的室
出席者	 <p>【県立谷地高等学校】</p> <p>伊藤 直大 松沢 祥汰 松田 和琉 若木 陽介 長岡 翼</p> <p>【河北町議会】</p> <p>吉田 芳美 職員 田川美和子</p>

意見交換 の内容	<p>〔まとめたグループ1〕 まちの活気について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民の元気や町の活気が足りない <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 若者が少ない <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な施設を使って、若者含む住民が参加できるイベントなどを企画し、住民の元気・まちの元気につなげる。 <p>〔まとめたグループ2〕 クマの出没について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民の生活圏におりてくるクマが多くなり、クマ被害が発生している。 <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ クマ出没時の緊急対応方法が難しく、駆除につながらない場合もあり、下りてくるクマの数が減らない。 <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民の生活圏に下りてこないよう、被害防止対策の一つとして電気柵などを設置する。 <p>〔まとめたグループ3〕 町の環境（気候）について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 気候は、夏は暑く、冬は雪が多い。 ○ 道路除雪をやってみたいという人が少ない。 <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 除雪車の免許（特殊）を持っている人が少ない。 <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 補助金があることを広める ○ 町道除雪促進事業などの取組みを広め、除雪機のオペレーターの高齢化対策につなげる。 <p>〔まとめたグループ4〕 空き家について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空き家が多くなっている <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人口減少 ○ 空き家の活用方法 <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活用方法の一つとして県外留学生の寮として使用する。
-------------	---

	<p>〔まとめたグループ5〕 人口減少について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一人暮らしの高齢者が多い ○ 子どもが減ってきている ○ 若者（高校生等）が少ない ○ 地元を離れる人が多い <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地元の魅力が伝わっていない <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町のブランド力をUPする ○ 小・中学生の頃から、もっと地域や町と接する機会を設け、町の良さなど郷土愛につなげる。 <p>〔まとめたグループ6〕 地域交通について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 移動手段が少ない ○ 交通手段が少ない <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町に駅がない <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 利便性のあるバスやタクシーを増やす <p>〔まとめたグループ7〕 町内施設について</p> <p>■現 状■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 娯楽の場所が少ない ○ 身体を動かすスポーツ施設が少ない <p>■課題や問題点■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 企業誘致（土地などの立地条件含む） <p>■改善案や今後の方向性■</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空き家・空地の利活用、有効活用
ま と め	<p>8班は、「町民が生活しやすい町づくりについて」をテーマで話し合いを行い、出された”現状”の意見を出しました。</p> <p><u>1 まちの活気について</u></p> <p>若者含む住民が参加できるイベントなどを企画し、交流の場を持ち町の元気へつなげる。</p> <p><u>2 クマの出没について</u></p> <p>住民の生活圏に下りてくる前の被害防止対策の一つとして、電気柵などを設置し被害を防ぐ。事前の対策が大事。</p>

	<p><u>3 町の環境（気候）について</u> 冬は特に雪が多く、町道除雪促進事業などの取組みを広め、除雪車の免許（特殊）保持者を増やし、除雪機のオペレーターの高齢化対策につなげる。</p> <p><u>4 空き家について</u> 人口減少等により空き家が多くなってきており、活用方法の一つとして県外留学生の寮として使用する。</p> <p><u>5 人口減少について</u> 人口減少をより少なくするためにも”町の魅力”をもっと周知PRし、また小学生や中学生の頃から、もっと地域や町と接する機会を設け、町への郷土愛につなげていく。</p> <p><u>6 地域交通について</u> 移動・交通手段が少なく、町民のニーズにこたえた利便性のあるバスやタクシーを増やし、暮らしやすい生活を確保する。</p> <p><u>7 町内施設について</u> 空き家・空地进行を有効活用し、娯楽や身体を動かすスポーツの場など、企業誘致も含め開設して、まちの元気につなげる。</p>
感想、または町行政や町議会へ伝えたい思い（無記名）	<p>議員さんがみんな面白くて、話しやすい対局でした。 町外の生徒にも対等に話をしてもらえて有意義な話し合いができた。 雰囲気良く意見が出しやすかった。全員で話し合っ問題に向き合え河北町をより良くできるような話し合いができた。 河北町の現状や町民として気になっていたことを訊くことができた。 私達にできることがあれば協力したいと思った。</p>





(10月24日 町の業務について聴き取り)